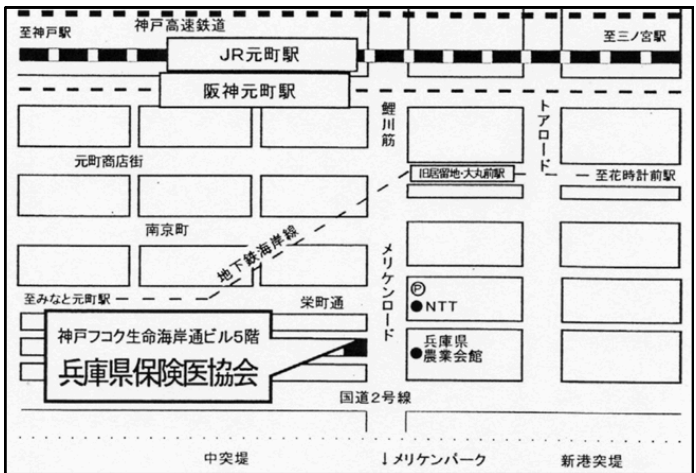


高齢者に多い口腔粘膜疾患と治療薬

日時 **11月8日（日） 14:00～17:00**

講師 **国際医療福祉大学那須医療センター 岩渕 博史 先生**
 歯科口腔外科 部長

会場 **兵庫県保険医協会会議室**
 ・神戸フコク生命海岸通ビル5階
 ・JR・阪神「元町」駅東口から南へ徒歩7分



高齢者に見られることの多い口腔粘膜疾患には口腔カンジダ症、口腔扁平苔癬、口腔乾燥症、ヘルペスウイルス感染症などがある。口腔カンジダ症は主にC.albicansによる日和見感染症である。加齢やがん治療、免疫抑制薬の使用などにより宿主の抵抗力が低下したことにより日和見感染症として発症する。また、抗菌薬の長期使用による菌交代症で発症することもある。口腔扁平苔癬は中高齢の女性に多くみられる。最も典型的な状態は、左右頬粘膜に網状（レース様）白斑として現れ、悪化すると発赤、更にびらんや潰瘍形成を生じる。口腔乾燥症には、口腔内の唾液量が減少したタイプと口腔乾燥感の自覚症状を有するが唾液量の減少を認めないタイプがある。唾液量減少の原因には様々あるが薬の副作用が最も多く、精神疾患やストレスなども多い。高齢者におけるヘルペスウイルス感染症の多くは、免疫能低下に伴う再感染や回帰感染によって発症する。ヘルペス性歯肉口内炎は単純ヘルペスウイルス感染の初感染により発症する。再感染や回帰感染の場合は口唇ヘルペスとなる。そのため、高齢者の場合多くは口唇ヘルペスとなる。水痘・带状疱疹ウイルスの回帰感染が带状疱疹であり、口腔顎顔面領域にも発症する。本講演ではこれらの疾患を中心に治療薬を含めてお話しさせていただく。(岩渕 記)

⇒協会未入会の先生はこの機会にご入会の上ご参加ください（入会金なし:月会費：歯科開業医5,000円、同勤務医3,000円）

【Zoom視聴の申し込み】
 下記のURLまたは二次元コードからお申し込みください。案内メールが送付されます。

<https://x.gd/ugr19>



＊お問い合わせは
TEL：078-393-1809
E-MAIL：ysng@doc-net.or.jp

11月8日歯科定例研究会 参加申込書（返信FAX：078-393-1802）

地区〔 市区町 〕 医院名〔 〕
 TEL〔 〕 FAX〔 〕
 氏名〔 〕 職種〔 〕